

キンボール活動報告書

日時：2月末～3月中旬

場所：尼崎市立小園小学校 体育館

《活動報告》

コロナによって学校行事が少なくなる中で、何か楽しめる活動はないかと考え、模索していたところ、「キンボール」というスポーツがあることを知りました。誰でも楽しめるスポーツであると感じ、本校（尼崎市立小園小学校）の6年生でも楽しめるのではないかと期待して、キンボールレンタルを利用させていただきました。

授業を行ってみて、初めに感じたことは、ルールの理解のしやすさです。どの児童も10分ほどのオリエンテーションでルールを理解し、最初の授業からキンボールを楽しんで取り組むことができました。

2つ目に感じたことは、やっていくうちにチームの中で協力し合う機会が増え、自然と仲が良くなるということです。キンボールで使うボールは、子どもが一人で扱うには大きすぎるため、必ずチームで協力することが必要になってきます。運動に苦手意識を持つ児童が運動を得意としている児童を助ける姿が何度も見ることができ、チームみんなで協力しながらゲームを楽しむことができました。また、一緒にゲームに参加している児童はもちろん、周りで見ている児童も声を掛け、自然と協力し合う姿が見られました。同じチームメイトにアドバイスを言ったり、良いプレーをした時には拍手が起こったりと素晴らしい姿が試合を通して何度も見られました。

3つ目に感じたことは、作戦を考えやすく、勝つためには子どもたちの思考力も大事になるということです。試合を進める中で、相手がいないところにボールを飛ばしたり、相手がボールを飛ばしそうなところに広がったりすることが大事になるということは、児童もすぐに気づき、声をかけていました。二回目になると、相手が準備する前に早くボールを飛ばしたり、あえてスペースを空けてボールを狙ったところに飛ばさせたり、チームによって異なる作戦をどんどん考え出すことができました。多くの作戦を考え出すことで、試合に出ていない児童も一緒になって熱中できていました。

今回の授業を終えて、何人もの児童が「キンボール」の授業を次もできるかどうか何度も尋ねてきたり、「学級活動でもやりたい。」と話していたり、「キンボール」の楽しさに十分触れられたように思います。また体育の学習に関わらず、学校で取り組んでいきたいと思いました。ありがとうございました。

尼崎市立小園小学校